

「日本における電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究」

報告会 資料

調査の概要

(調査の目的)

近年、「電子書籍」の量的拡大、コンテンツの多様化、ネットワーク配信が進んでいる。統計によると市場規模は年々拡大しており、とりわけ携帯電話による電子書籍配信事業が拡大の一途をたどっている。そのようなコンテンツの1つ、「ケータイ小説」は若年層に広く受容されており、ネット上でのアクセス数の多い「ケータイ小説」が単行本として出版され、2007年にはベストセラーの上位層を占めるに至った。

このような状況を踏まえ、2008年現在の国内における電子書籍の流通・利用・保存の現況について、図書館とのかかわりを視野に入れつつ調査を実施した。

(方法)

質問紙調査によって、電子書籍の流通・利用・保存に関する実態・意識調査を、出版社を対象に実施した。さらに電子書籍関連事業者を対象にインタビュー調査を実施した。また利用者調査の代替として、国立国会図書館職員を対象に、電子書籍の利用実態および意識に関する質問紙調査を実施した。

(結果)

各種統計や歴史的経緯の分析から、電子書籍の厳密な定義は困難である。そこで産業の実態から電子書籍を定義し、流通・利用・保存の現状分析を試みた。

電子書籍の流通形態は、CD-ROMに代表されるパッケージ系電子出版物から、オンライン系電子出版物へと移行している様子が窺える。また2006年度には携帯電話向け市場が、それまでの主力であったパソコン向けの市場規模を上回るに至った。この動きに呼応して、携帯電話通信事業者と提携し、携帯電話にコンテンツを有償で提供するベンダ数も、増加の一途をたどっている。このような携帯電話向け電子書籍ビジネスの特徴として、携帯電話通信事業者によるコンテンツメニューの登録、課金、集金の管理が挙げられるが、通信事業者と提携せずにコンテンツを提供するベンダの登場や、多機能モバイル情報端末の登場により、この体制に変化が生じつつある。

ハードウェア面では、読書専用端末の不成功、携帯電話やゲーム機に代表される携帯型汎用端末による読書の受容といった現象が特徴的である。紙や書籍の代替としての電子書籍は現在のところ、社会的に広汎には受け入れられておらず、携帯電話などによる電子書籍利用も電子書籍への全面移行を意味するものではないことを示唆するものと考えられる。

電子書籍の利用に関して、個人利用に関する悉皆的なデータは、現時点で存在しない。また図書館における電子書籍の機関利用には、自館所蔵資料の電子化と公開、外部提供の電子書籍の導入と提供の2種類に分けることができる。

電子書籍の保存に関しては、出版社やコンテンツプロバイダは、データの滅失や毀損に対する安全性確保としての保存（バックアップ）が中心であり、そういった保存をも行っていない例もあるという結果が得られた。すなわち、電子書籍の長期的な保存に対する意識は、現在のところ薄いと考えられる。

出版社向けアンケート調査

調査方法 郵送による配布回収
 実施期間 2008年8月17日～9月16日
 調査対象と回収状況

調査対象	配布数	回収数	回収率
日本書籍出版協会 会員出版社	471社	218社	46.3%
出版流通対策協 議会会員社	94社	37社	39.4%
合計	565社	255社	45.1%

※ 両調査対象のうち、重複する3社については、「日本書籍出版協会会員出版社」として、送付

国立国会図書館職員向けアンケート調査

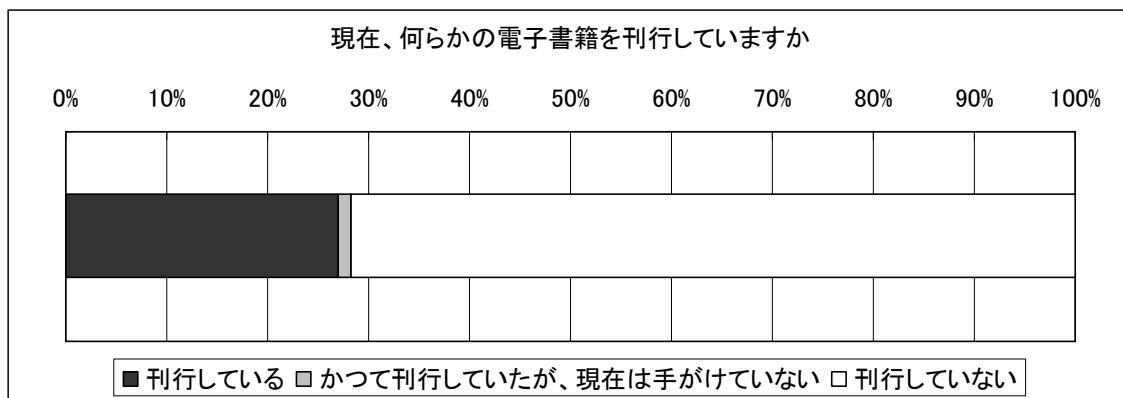
実施方法 ウェブで実施
 実施期間 2008年10月22日～11月5日
 調査対象と回収状況

調査対象	対象職員数	回収数	回収率
国立国会図書館 職員	904名	373名	41.3%

電子書籍関係各社へのインタビュー調査

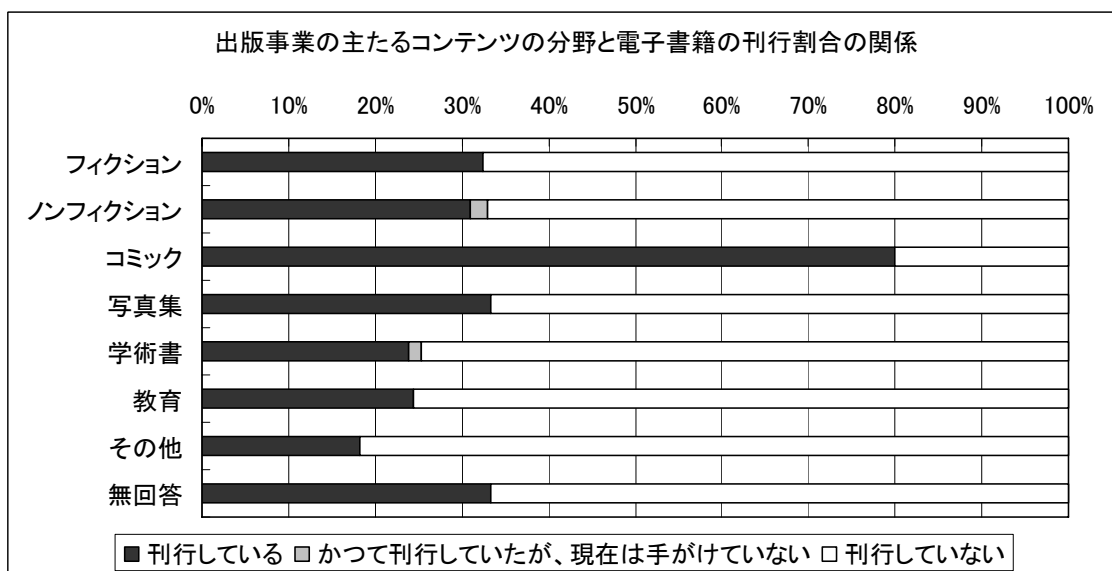
種別	インタビュー実施日	インタビュー先
携帯電話 キャリア	平成20年9月8日(月)	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
	平成20年9月8日(月)	KDDI株式会社
取次(+書 店)	平成20年9月3日(水)	ソフトバンクモバイル株式会社
	平成20年9月26日(金)	株式会社モバイルブック・ジェーピー
	平成20年8月26日(火)	エヌ・ティ・ティ・ ソルマール株式会社
	平成20年9月2日(火)	株式会社ビットウェイ
書店等	平成20年9月3日(水)	株式会社パピレス
	平成20年9月2日(火)	iNEO株式会社
	平成20年9月4日(木)	株式会社ビーエムエフ
	平成20年9月9日(火)	株式会社魔法のiらんど
	平成20年9月4日(火)	株式会社紀伊國屋書店
	平成20年9月3日(水)	株式会社ポイジャー
	平成20年9月3日(水)	株式会社講談社
出版社等	平成20年9月9日(火)	株式会社集英社
	平成20年9月8日(月)	株式会社小学館
	平成20年9月9日(火)	株式会社PHP研究所
	平成20年9月4日(木)	株式会社イーブックイニシアティブ・ ジャパン
調査報告 書刊行社	平成20年9月26日(金)	株式会社インプレスR&D
	平成20年9月2日(火)	株式会社出版ニュース社

< 出版社アンケート調査結果概要 >



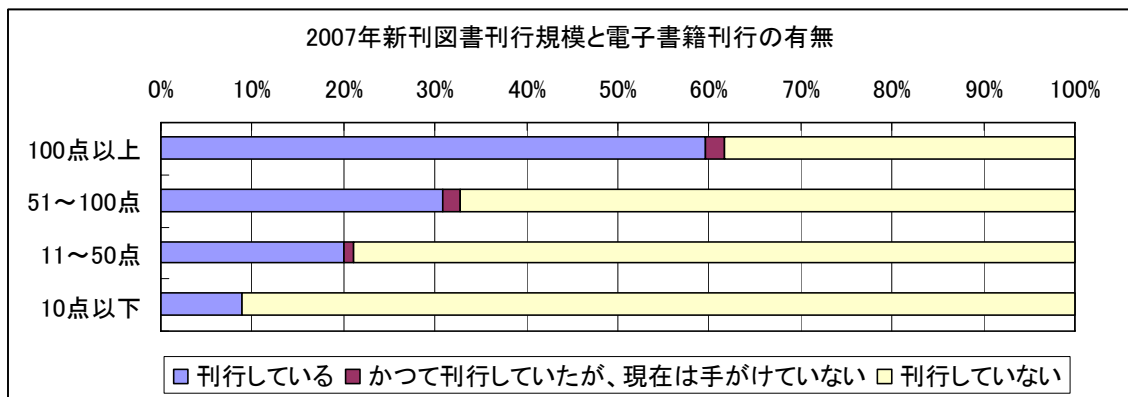
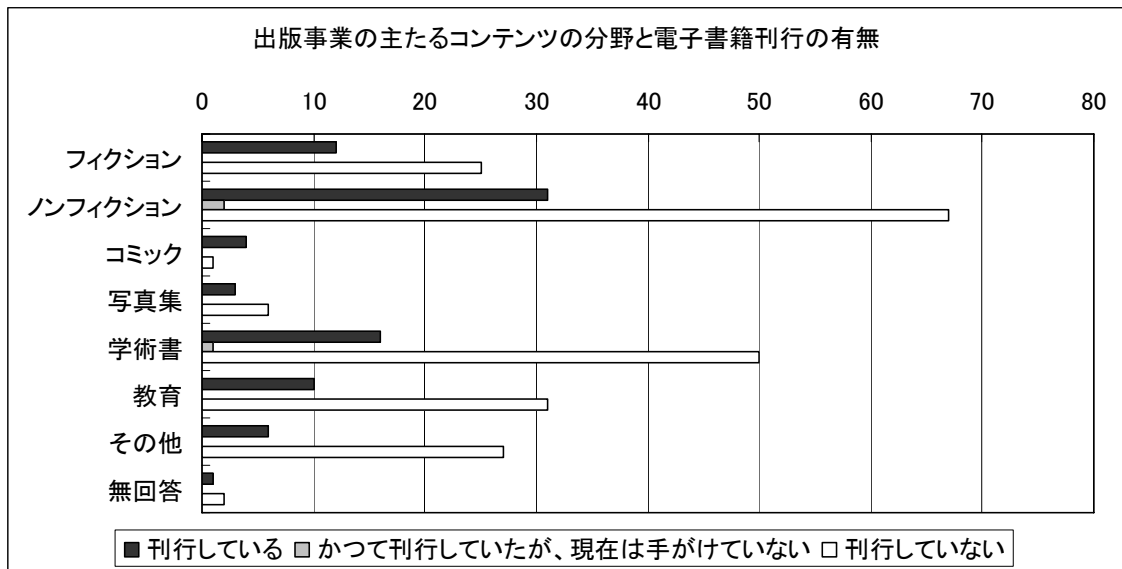
	刊行している	かつて刊行していた	刊行していない
現在、何らかの電子書籍を刊行していますか	69	3	183

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』121頁)



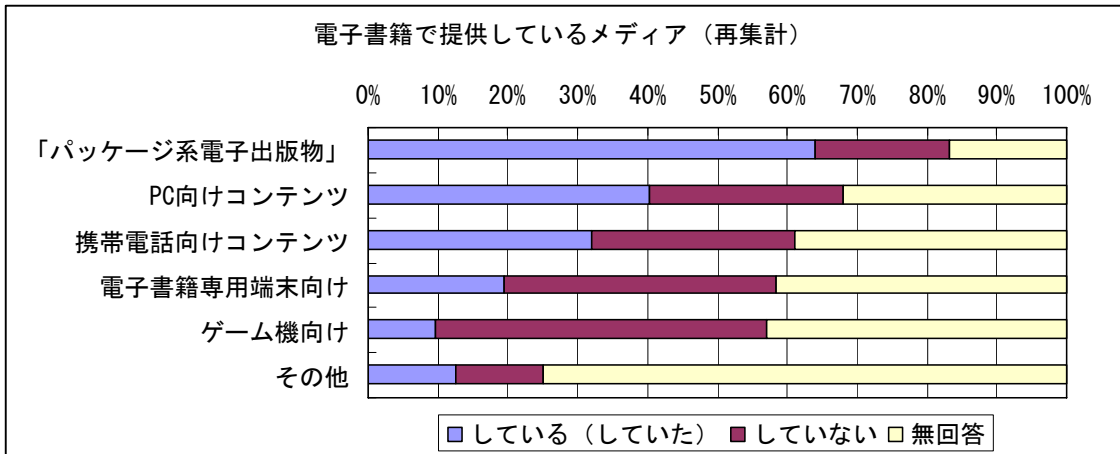
	刊行している	かつて刊行していたが、現在は手がけていない	刊行していない
フィクション	12	0	25
ノンフィクション	31	2	67
コミック	4	0	1
写真集	3	0	6
学術書	16	1	50
教育	10	0	31
その他	6	0	27
無回答	1	0	2

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』125頁)

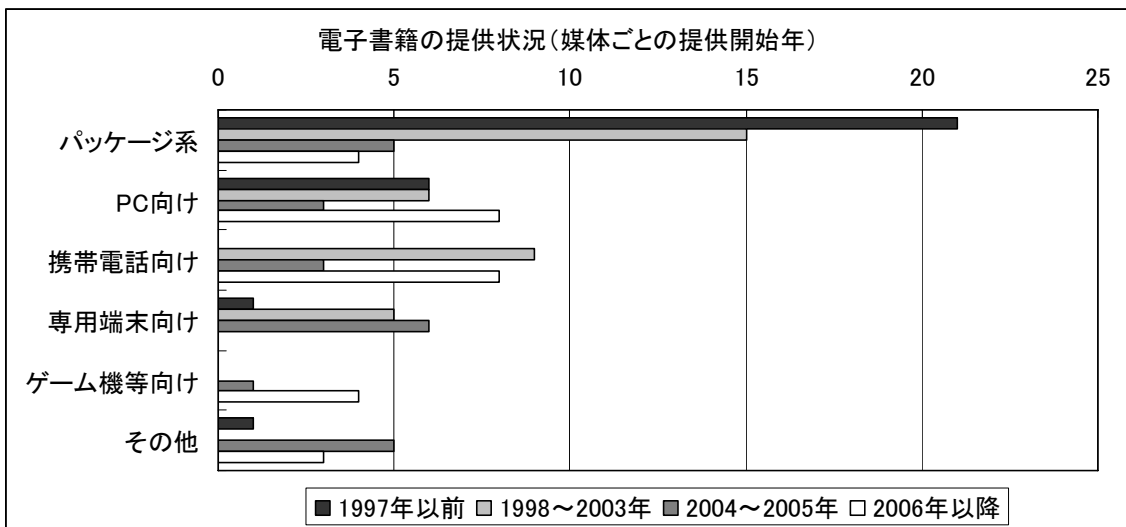
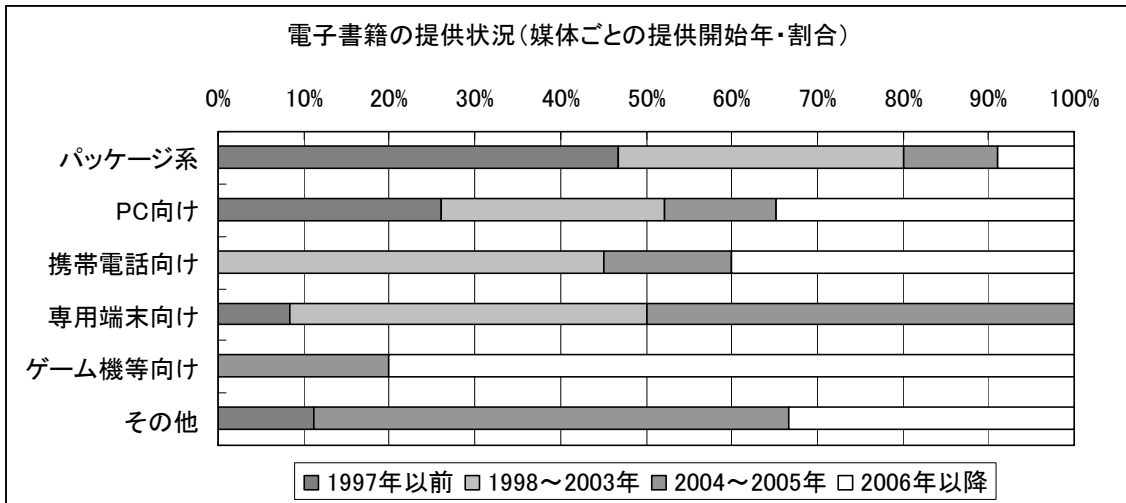


	100点以上	51～100点	11～50点	10点以下
刊行している	28	16	20	5
かつて刊行していたが、現在は手がけていない	1	1	1	0
刊行していない	18	35	79	51

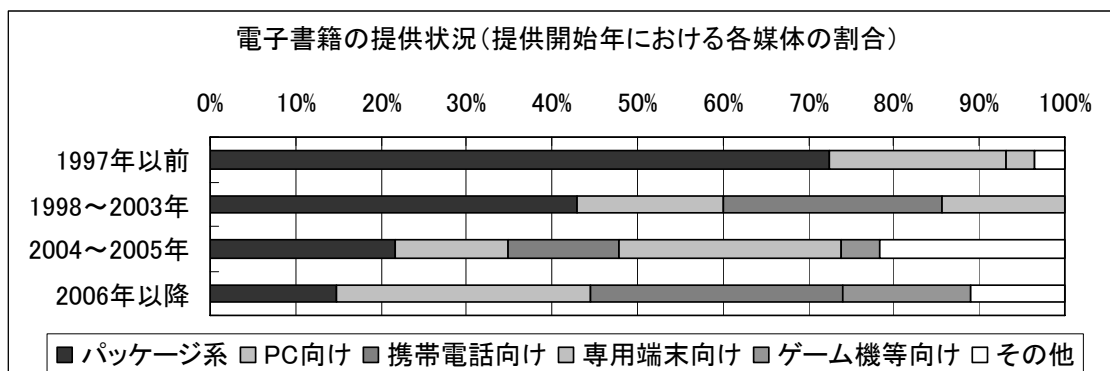
(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』114頁)



(表は『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』128頁、グラフは同表から再作成)



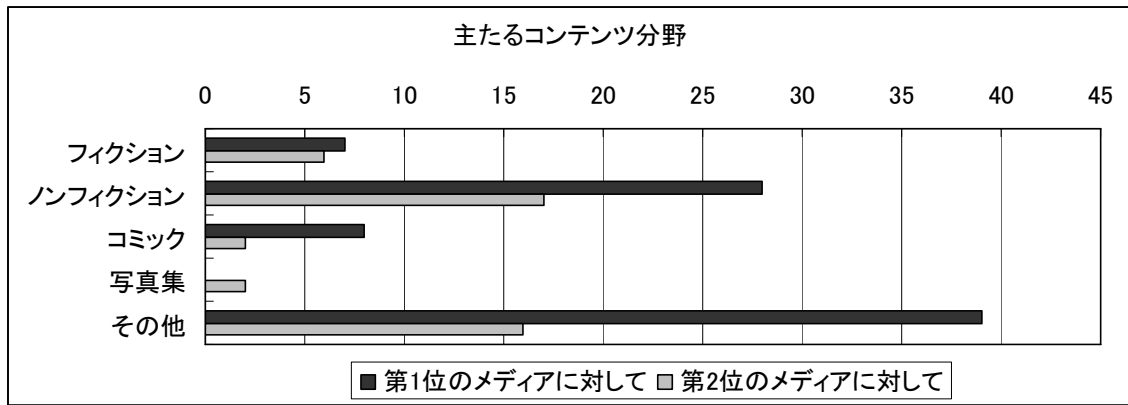
(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』131頁)



(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』131頁表より再作成)

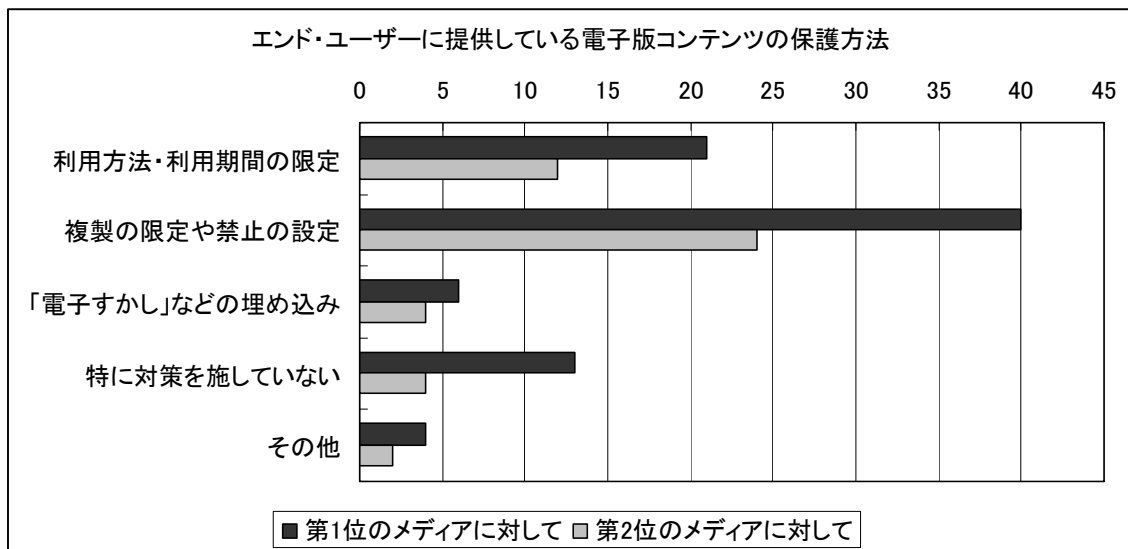
	パッケージ系	PC向け	携帯電話向け	専用端末向け	ゲーム機等向け	その他
1997年以前	21	6	0	1	0	1
1998～2003年	15	6	9	5	0	0
2004～2005年	5	3	3	6	1	5
2006年以降	4	8	8	0	4	3
無回答	27	49	52	60	67	63
合計	72	72	72	72	72	72

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』131頁)



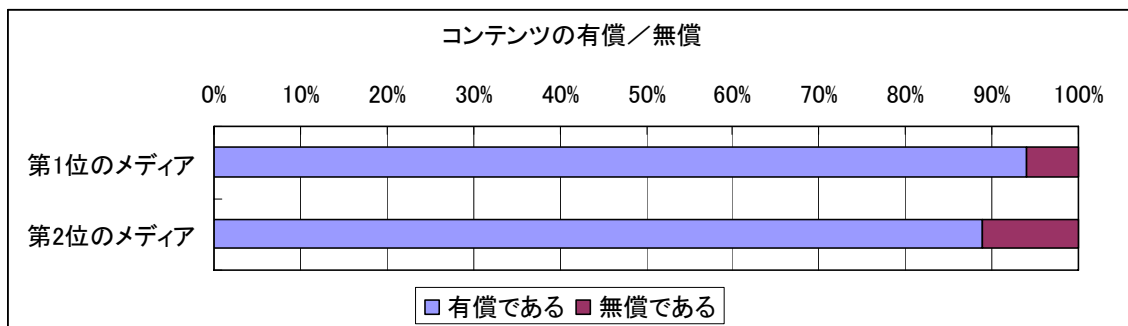
	フィクション	ノンフィクション	コミック	写真集	その他	総回答数
第1位のメディアに対して	7	28	8	0	39	82
(割合)	8.5%	34.1%	9.8%	0.0%	47.6%	
第2位のメディアに対して	6	17	2	2	16	43
(割合)	14.0%	39.5%	4.7%	4.7%	37.2%	

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』141頁、
ただし総回答数、割合は新たに算定)



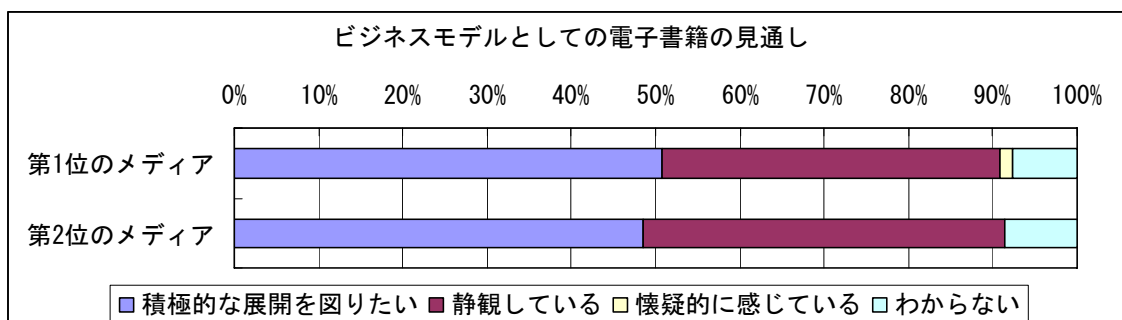
	利用方法・利用期間の限定	複製の限定や禁止の設定	「電子すかし」などの埋め込み	特に対策を施していない	その他
第1位のメディアに対して	21	40	6	13	4
第2位のメディアに対して	12	24	4	4	2

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』155頁)



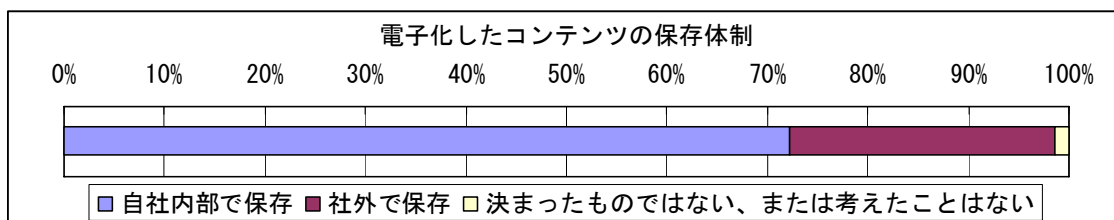
	有償である	無償である
第1位のメディア	63	4
第2位のメディア	32	4

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』159頁)



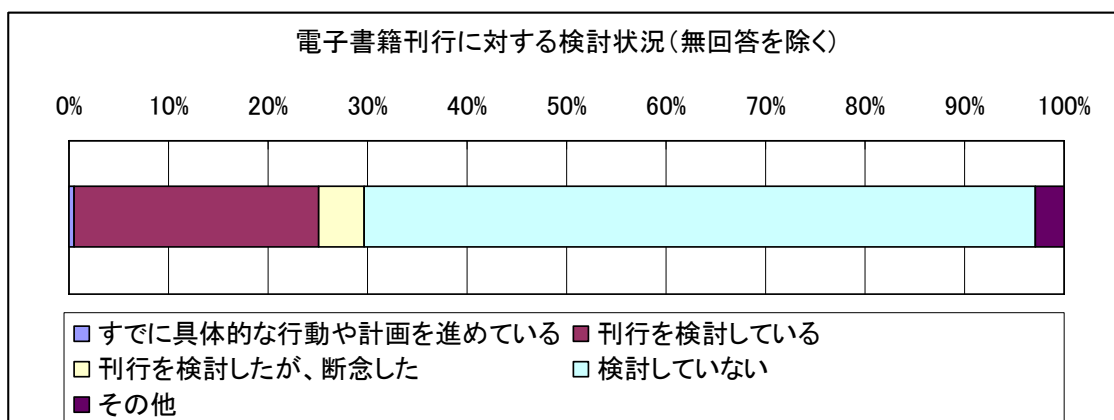
	積極的な展開を図りたい	静観している	懐疑的に感じている	わからない
第1位のメディア	33	26	1	5
第2位のメディア	17	15	0	3

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』163頁)



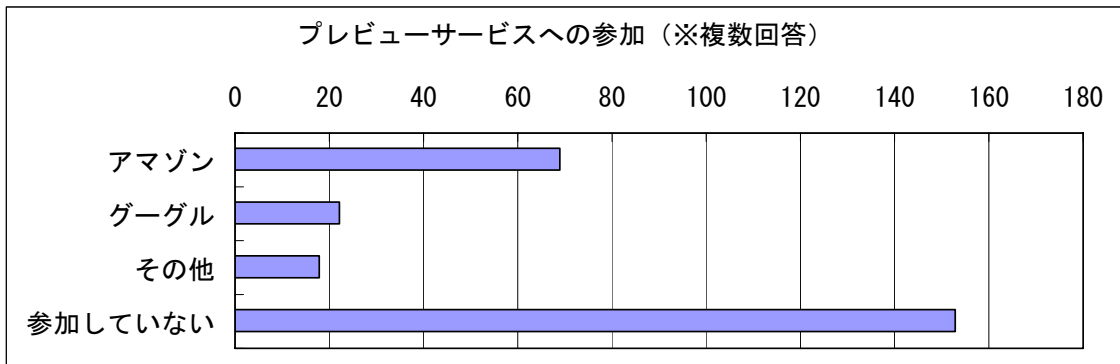
自社内部で保存	社外で保存	決まったものではない、または考えたことはない
52	19	1

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』167頁)



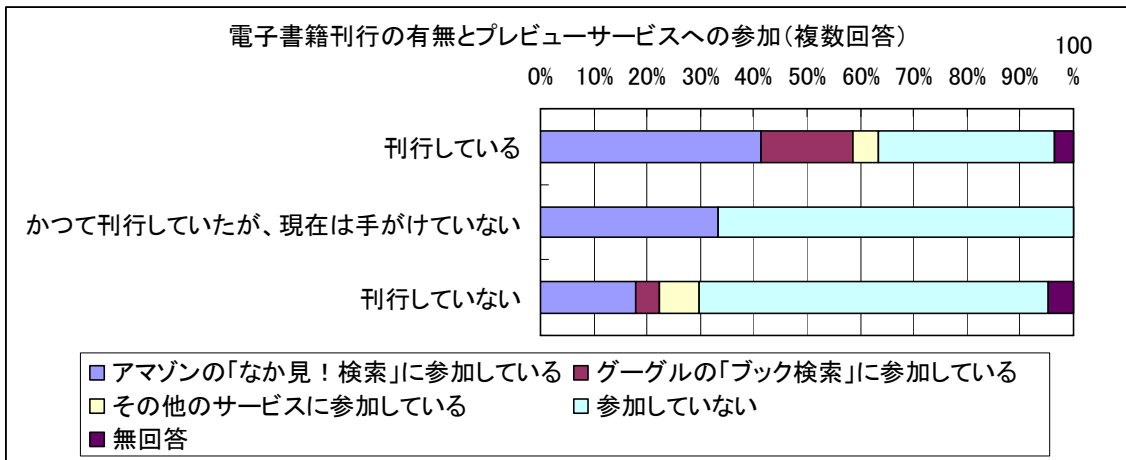
すでに具体的な行動や計画を進めている	刊行を検討している	刊行を検討したが、断念した	検討していない	その他	合計
1	43	8	118	5	175

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』174頁、ただし無回答を除いて再集計)



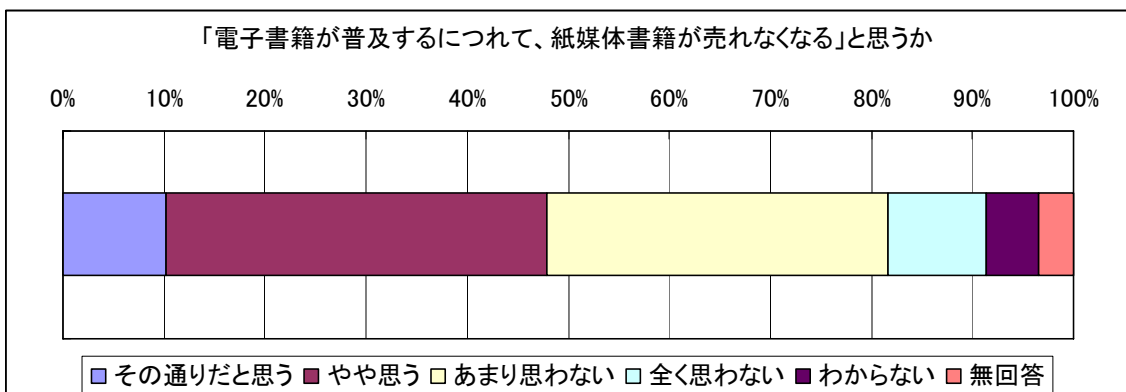
アマゾン	グーグル	その他	参加していない
69	22	18	153

（『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』176頁）



	アマゾンの「なか見！検索」に参加している	グーグルの「ブック検索」に参加している	その他のサービスに参加している	参加していない	無回答
刊行している	34	14	4	27	3
かつて刊行していた	1	0	0	2	0
刊行していない	34	8	14	124	9

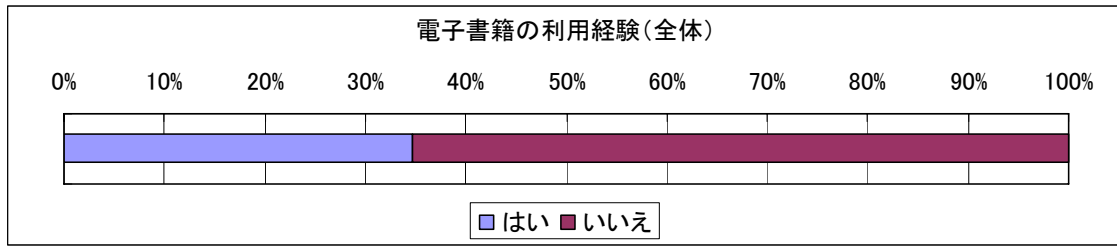
（『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』177頁）



その通りだと思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答
26	96	86	25	13	9

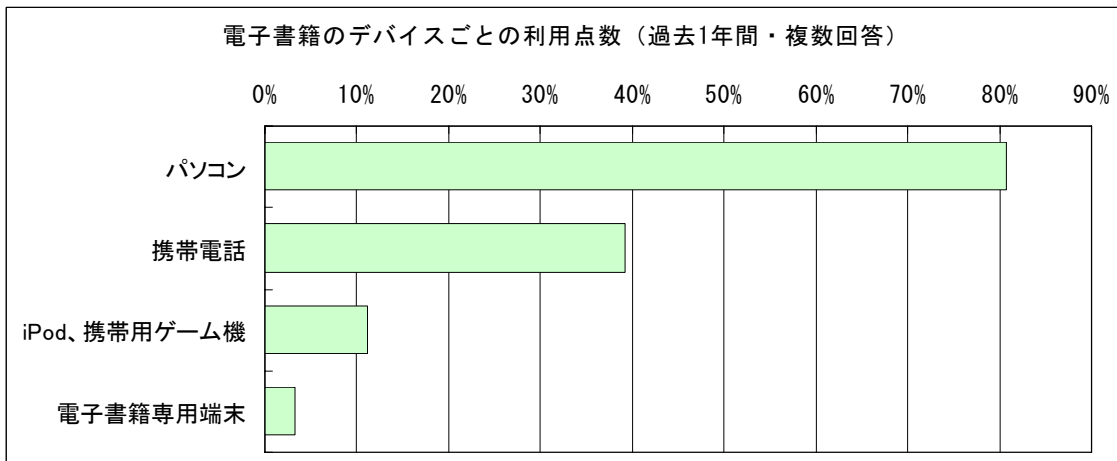
（『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』178頁）

<国立国会図書館職員向けアンケート調査>



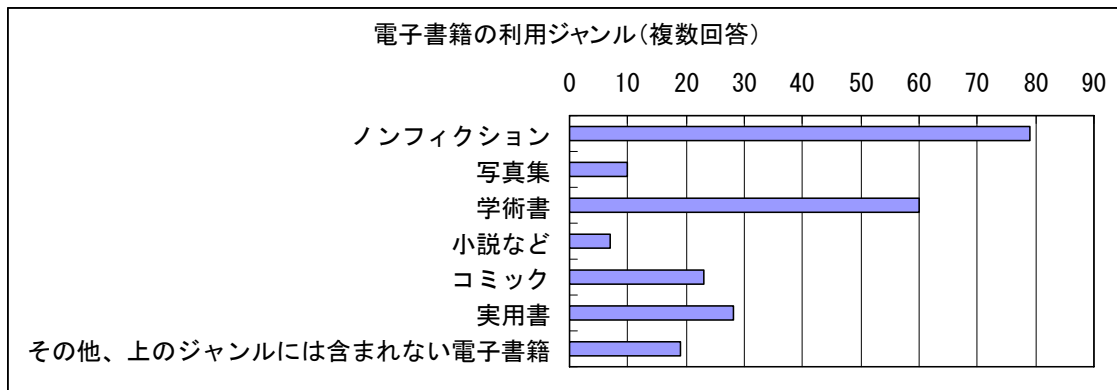
	はい	いいえ
電子書籍の利用経験	126	237

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』191～192頁)



	パソコン	携帯電話	iPod、携帯用ゲーム機	電子書籍専用端末
全体	101	49	14	4

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』193頁、なお総回答者数は126名)



	ノンフィクション	写真集	学術書	小説など	コミック	実用書	その他、上のジャンルには含まれない電子書籍
全体	79	10	60	7	23	28	19

(『電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究』200頁)